

1 はじめに

本校は小規模校の特長を生かし、縦割り班活動などで縦の繋がりを大切にしている。また、4・5・6年生が委員会活動を行っており、その中でも計画・運動委員会が中心となって、学校全体に関わる活動を行っている。

2 資料

(1) 1年生を迎える会（令和3年4月21日）

1年生の入学をみんなでお祝いし、学校の楽しさを知ってもらう会である。6年生と1年生と一緒に入場し、6年生から歓迎の言葉、4年生からメダルのプレゼント、1年生の自己紹介を行った。その後、年度初めての縦割り班遊びを行った。



今年度も昨年度に引き続き感染症対策を行った上での行事にするために、場所や入場の仕方、活動内容などについて何度も話し合ったり、実践してみたりしながら具体的なイメージをもてるようにした。その結果、6年生を中心として児童が主体的に取り組むことができた。

(2) 「あいさつ運動」(年9回実施：計画運動委員会3回、各学年1回)

児童が自分から進んであいさつができるようになるために、あいさつ運動を企画し、実施した。他学年同士あいさつをしたりされたりすることで、顔を覚えたり元気にあいさつする様子が見られた。校内に進んであいさつする明るい声が響いていた。また、計画運動委員会があいさつ運動を担当するときには、2日間連続で自分からあいさつできた児童の記録を行った。達成できた児童には委員会の児童たちが賞状を作成し、渡した。



(3) その他の活動

ア 縦割り班遠足（かみね動物園）



イ 運動会（縦割り班リレー）



3 成果と課題

- ・計画・運動委員会の児童は、学校全体に関わる行事の企画・運営などを行うことで、活動への意欲が高まるとともに責任感が育った。今年度も、感染症対策を行った上での活動であった。その中でどのようにしたら縦割り班での活動が活発にできるかを話し合うことができた。
- ・活動時間の確保において、常設されている委員会活動の時間のみでは足りないことがあり、休み時間を使うことが多かった。計画を綿密に立て、改善できるようにしたい。
- ・児童たちが自主的に考え、実行していけるような意識付け及び支援が必要であると感じた。